

完成を間近にひかえた天草パールライン・5号橋架設開始



〈天草パールライン〉の愛称で今秋開通しようとしている天草架橋のうち、一番後に残った本土から最も離れたこの5号橋が、いまその完成を急いでいる。まさに、雲仙・天草国立公園に近代的な構造美をそえようとしているところである。

本橋の特色は、海洋に架かる橋としてその構造美を最高に発揮させるため、本格的なパイプ構造を用いていることであり、パイプアーチとしては日本第一位である。最近のパイプ加工および溶接技術の向上は、美観のみでなく経済的な面でもパイプの利用度を高めつつある。

本計画については、会誌第49巻第9号の報告欄を、1～4号橋の写真は会誌第50巻第11号口絵欄を参照されたい。

なお、5号橋の設計条件等はつぎのとおりである。

橋長：177.7 m（アーチ部 126 m）

幅員： 6.5 m

形式：2ヒンジ・ソリッド・リップ・アーチ

パイプの直径： 1.85 m（最大板厚16mm，S M 50 A）

等級：一等橋

しゅん工予定：昭和41年5月

製作・架設：川崎重工業 KK

中央線中野～荻窪間複々線高架化工事完成



国鉄第三次長期計画による中央線中野～三鷹間線増工事は、中央線の通勤輸送対策の抜本的対策として 36 年 12 月に着工し、39 年 9 月中野～荻窪間在来 2 線の高架化工事が完成し、その後複線増設工事を行ってきたが今般完成、4 月 3 日より使用を開始した。

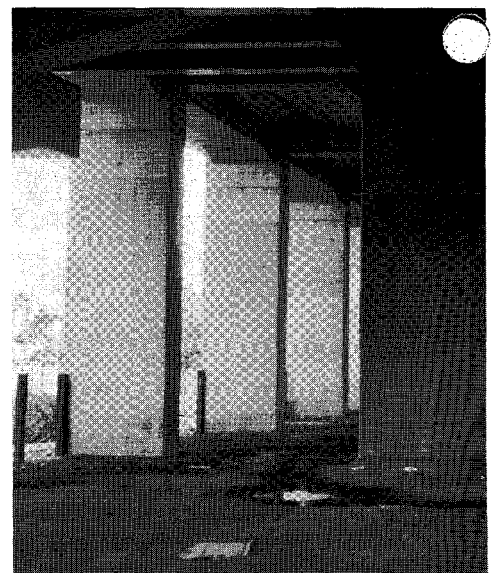
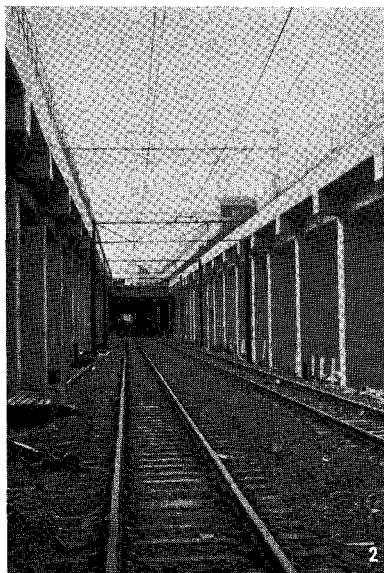
駅中間の構造物は鉄筋コンクリート 3 径間連続ラーメン橋 (2.5^m + 3 × 8.0^m + 2.5^m) を採用し、基礎は深礎またはコンクリート杭フーチング基礎を用いている。駅構内は溶接鋼ラーメン橋 (3.0^m + 3 × 8.0^m + 3.0^m) で、基礎は深礎または一部でペント杭を用いた。

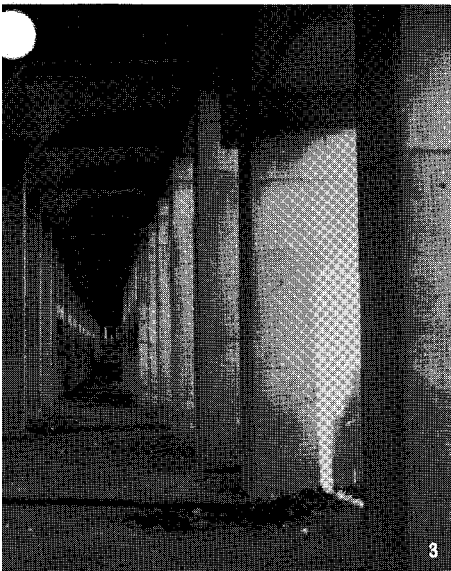
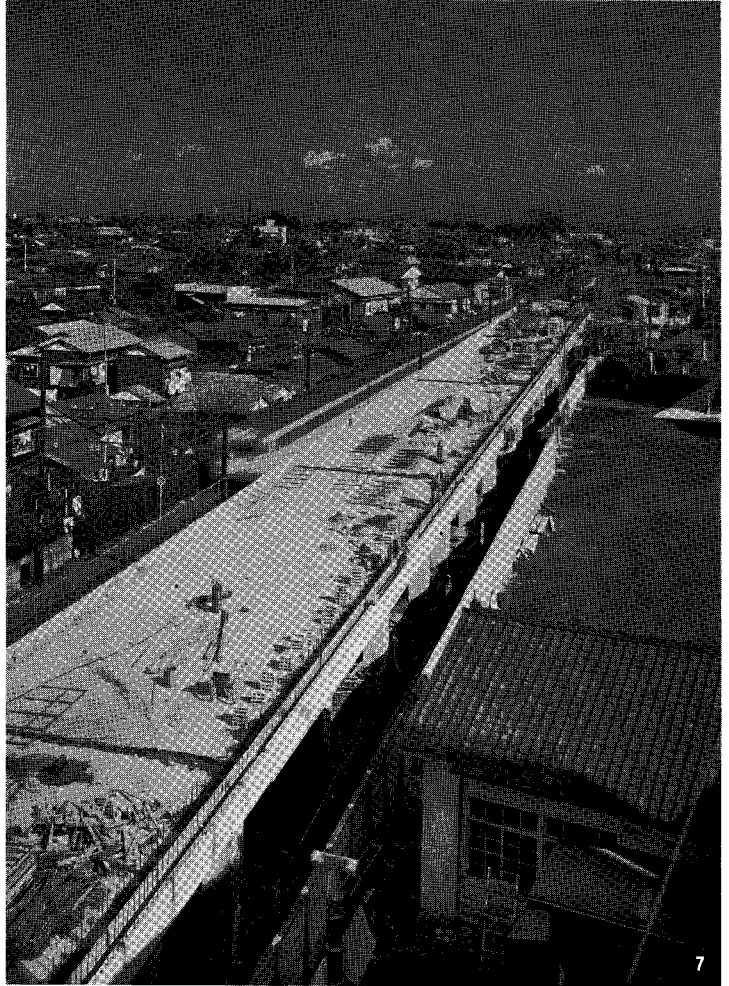
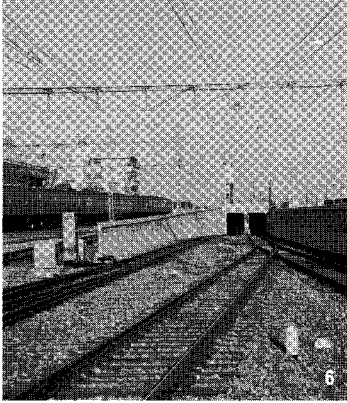
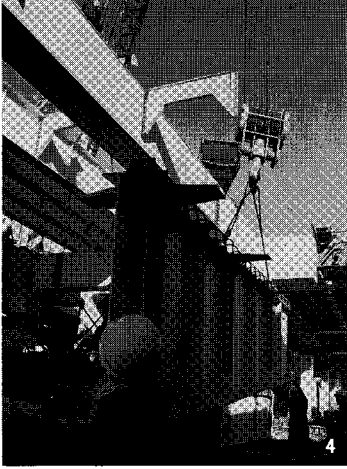
主な橋梁として、環状 7 号架道橋 (2 × 20^m, 4 線 5 主桁)、権現寺架道橋 (単線桁 27^m, 36^m 各 1 種、複線桁 27^m 1 連) がある。

〈本文ニュース欄参照〉

写真説明

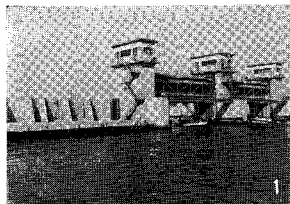
- 1 4 線高架化工事完成・高円寺駅付近を写したもので、右上は環状 7 号道路
- 2 高円寺～中野間 2 線高架化工事完成・昭和 39 年 9 月
- 3 完成した 4 線 3 柱式高架橋・高円寺～中野間高架下を写す
- 4 高円寺駅構内の溶接鋼ラーメン橋・昭和 39 年 2 月
- 5 阿佐ヶ谷駅構内の鋼ラーメン橋・スラブコンクリート打ち作業・昭和 38 年 10 月
- 6 中野駅構内・地下鉄東西線入口
- 7 工事中の 2 線 2 柱式高架橋・荻窪～阿佐ヶ谷間・昭和 38 年 10 月





東京都江東デルタ地帯外郭堤防完成

〈東京ゼロメートル地帯〉として有名になった東京都江東デルタ地

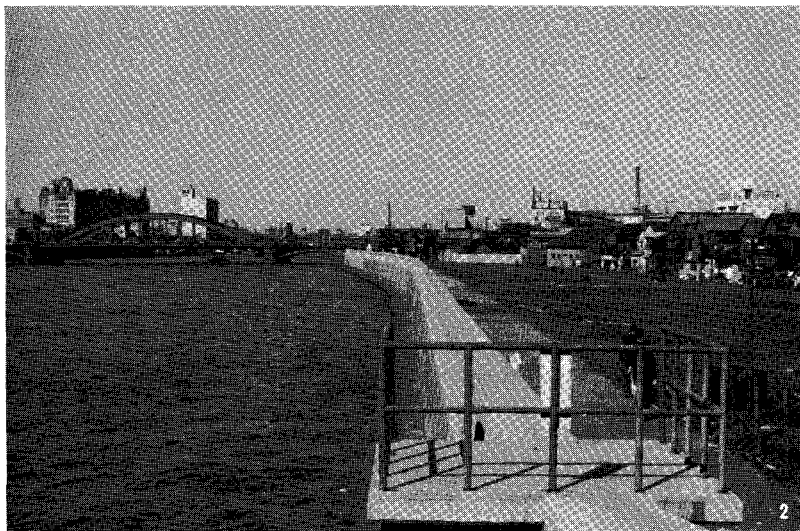


帯は、その地帯の大半が海面以下ということから名付けられたようであるが、過去幾度かの災害が物語るように一たび高潮が襲来するとその防備は万全とはいえず、日も早い本工事の完成が待たれていた。本事情に鑑み昭和 32 年着工以来鋭意進められてきた本工事は、本年 3 月で完工となり、本地区の住民に大きな福音をもたらすこととなった。

〈本文ニュース欄参照〉

写真説明

- 1 辰巳水門近景
- 2 隅田川左岸・厩橋上流から写す・都建設局施工
- 3 荒川右岸・葛西橋上流から写す・建設省施工
- 4 荒川水門全景・写真右上が江東デルタ地帯



新学期からの勉強は土木学会の優良図書で！

土木学会には大学土木教育委員会・高校土木教育研究委員会はじめ専門・調査・連絡・編集など40余の委員会が常置され、それらの調査・活動の研究成果をとりまとめたものが出版物として刊行されております。土木学会の出版物は多くの人々の意見をとり入れ最高の内容が平易に記述してありますので新入社員教育に、また新学期を迎える学生諸君の参考書としてぜひご使用下さい。学校・会社等でとりまとめてご使用の場合は学会へご相談下さい。

■土質実験指導書改訂版 体裁 B5判 本文 64 ページ データーシート 26 葉 定価 320 円 (〒 50 円)

内 容：土質実験指導書が刊行されてから2年半……この間多くの学校や職場で実験指導参考書としてご利用いただき好評をえております。今回の改訂では各使用者の声を取り入れ、従来の15項目に新たに「土の三軸圧縮試験方法」をとり入れ16項目とし、それぞれの項目を1. 目標、2. 試験器具、3. 試料、4. 試験方法、5. 計算および結果の整理、6. 注意事項、等々に分けて解説し、必要に応じて設問を設けるとともにデーターシートの記入例をとり入れましたので、広くご利用下さるようご案内いたします。

■土木材料実験指導書 体裁 B5判 本文 90 ページ データーシート 30 葉 定価 380 円 (〒 60 円)

内 容：土木関係で使う材料は多く、その用途は多方面にわたっているが、これらの材料はそれぞれ適性な試験をもって適否の判断をしなければなりません。本書は現在土木関係で使われている材料を、1. セメント、2. 骨材、3. コンクリート、4. 鉄筋、5. アスファルト、の5つに分け、それぞれに対するいろいろな試験方法を解説したものであり、巻末には試験結果を整理できるデーターシートをとり入れましたので、学生はじめ現場の技術者には非常に便利な実習書です。

■水理公式集 体裁 A5判 603 ページ 定価 1400 円 (会員特価 1100 円) (〒 150 円)

内 容：水理公式集の初版が刊行されたのは昭和17年……それ以来土木学会の水理公式集として親しまれ、土木を学んだ人々は必ず読んだ本です。昭和38年に増補改訂された本書は第1編 河川、第2編 発電水力、第3編 上下水道、第4編 港湾および海岸の4つの大項目を7~11の中項目に分け、それらを詳細に解説したもので、世界でも珍しいユニークな公式集です。

■異形鉄筋を用いた鉄筋コンクリート構造物の設計例 ——コンクリート・ライブラリー No. 3——

体裁 B5判 42 ページ付図5枚 定価 380 円 (会員特価 300 円) (〒 40 円)

内 容：最近の異形鉄筋の進歩にはめざましいものがあり、多くの構造物に使用されています。本書では異形鉄筋を用いた鉄筋コンクリート構造物の設計例として、Ⅰ 鉄筋コンクリートT形けた橋(鉄道橋)設計例、Ⅱ 鉄筋コンクリートT形けた橋(道路橋)設計例、Ⅲ 鉄筋コンクリート倒立T形擁壁設計例、Ⅳ 鉄筋コンクリート控え壁式橋台(道路橋)設計例、Ⅴ 鉄筋コンクリート ラーメン橋脚(道路橋)設計例、など5つの設計例を図面を用いてわかりやすく解説したものであります。

■土木製図基準(Ⅰ) 体裁 B5判 46 ページ付図11葉 定価 250 円 (〒 70 円)

内 容：土木を学ぶ者は製図を学ばなければならない。製図は土木工学の基礎である。本書は土木で学ばなければならない製図を第1編 総則で述べたのをはじめ、第2編では鋼構造、第3編では鉄筋コンクリート構造の設計図の書き方を解説し、付録として製図の書き方——製図用器具材料とその使い方——について詳細に述べたものであります。

■日本の土木技術 ——100年の発展のあゆみ——

体裁 A5判 488 ページ 定価 1200 円 (〒 150 円)

内 容：日本の今日における輝かしい土木技術発展の蔭には、明治初期から約100年にわたる多くの先輩方の努力を見逃してはなりません。本書は従来あまり見られなかった土木技術史の領域に目を向け、現在を力強く支えている数々の貴重な業績を新しい体系で追ったきわめてユニークな書籍です。若い技術者と共に、これから土木工学の真髄をきわめようとする学生諸君、建設会社に就職された一般の新入社員に、土木とは何か、そして土木のなすべき仕事は何だろうか、という問題意識を高めるとともに、土木を理解する上に貴重な参考書ですので、学校、会社関係でまとめてご利用下さいますようご案内申し上げます。なお、本書には貴重な写真が沢山とり入れてあり、今後このような写真を網羅した本の編集は不可能に近いと思います。

土木学会出版物案内

<申込み次第図書目録進呈>

編著者名	図 書 名	判 型	ページ数	会員特価	定 価	送 料	備 考
土木学会編	日本の土木技術 —100年の発展のあゆみ—	A 5	488		1 200	150	箱入上製
同	土木学会誌・論文集総索引	B 5	252		800	100	写真植字 オフセット
同	建設/創造/技術(写真集)	A 4	280		3 800	200	彰国社刊
同	土木技術者の活躍と 大学土木教育	A 5	140	250	300	50	
同	コンクリート標準示方書 土木学会規準	B 6	234		200	50	
同	プレストレスト コンクリート設計施工指針	B 6	124	250	350	50	
土木学会編	工事報告・川俣アーチダム	B 5	346	1 600	2 000	150	口絵6ペ ージ
九州電力KK編	工事報告・一ツ瀬 杉安アーチダム	B 5	550	2 300	2 900	150	口絵2ペ ージ
電源開発KK編	工事報告・大鳥セミアーチダム	B 5	266	1 200	1 400	150	付図11枚
日本道路公団編	若戸橋調査報告・工事報告書 〈昭和39年度土木賞受賞〉	B 5	二冊合計 2 350		30 000	学会負担	タイプオフ 限定出版
日本道路公団編	関門トンネル工事誌	B 5	692	1 500	2 000	200	
土木学会編	トンネル標準示方書	A 5	34		100	30	示方書条 文
同	トンネル標準示方書解説	A 5	138	500	600	50	条文を詳 細に解説
同	トンネル工学シリーズ1 第1回トンネル工学 シンポジウム	B 5	106	300	400	50	6編を収 録
同	トンネル工学シリーズ2 最近のトンネル工学 —工事の実例と話題—	B 5	136	400	500	50	6編を収 録
同	昭和40年度夏期講習会資料 構造工学における最近の諸問題	B 5	320	1 200	1 500	150	12編を収 録
同	水工学シリーズ〈全9巻〉 1964 A. ダム・河川コース B. 海岸・港湾コース	B 5	計 340		A. 1 100 B. 1 300	100 100	
同	水工学シリーズ〈全2巻〉 1965 A. ダム・河川コース B. 海岸・港湾コース	B 5	計 300		A. 2 000 B. 1 500	100 100	11編を収 録
同	第12回海岸工学講演会講演集 (1965)	B 5	258		1 500	100	39編を収 録

好評発売中！



日本土木史

—大正元年～昭和15年—

土木学会編

日本土木史編集委員会がその総力を結集して企画編集にあたった日本土木史（大正元年～昭和15年）は昨年暮刊行され下記の書評にもみられるとおり非常に好評をえております。しかし、価格の点で足ぶみしておられる方もおられると思いますが、その内容、ぼう大なページ数からいえば決して高価な本ではありませんし、将来必ず必要にせまられる本ですのでお早めにお申込み下さい。再版は不可能の限定版です

日本土木史の古典的位置とめる業績

土木学会編
日本土木史
大正元年～昭和15年

本書は17000頁、100冊、B5判8ポ横一段組、豪華製本。文庫型で、紙質、印刷、装丁、すべて、最高水準の出来栄である。この17000頁、100冊、B5判8ポ横一段組、豪華製本の「日本土木史」は、大正元年から昭和15年までの日本土木史の全史である。この全史は、日本土木史の古典的位置とめる業績である。

この「日本土木史」は、大正元年から昭和15年までの日本土木史の全史である。この全史は、日本土木史の古典的位置とめる業績である。この全史は、日本土木史の古典的位置とめる業績である。

選 刊 読 書 入

事実だけの持つ迫力

土木行政家・技術家の働きを示す

古 川 修

この「日本土木史」は、大正元年から昭和15年までの日本土木史の全史である。この全史は、日本土木史の古典的位置とめる業績である。

この「日本土木史」は、大正元年から昭和15年までの日本土木史の全史である。この全史は、日本土木史の古典的位置とめる業績である。



体裁：B5判8ポ横一段組

本文 1733 ページ

図 410 葉

表 500 点

写真 150 枚余

上製箱入脊革製の

豪華製本

定価：12000 円

<内容見本申込次
送呈>

—◀申込先▶ 土木学会 東京都新宿区四谷一丁目 振替 東京16828番

工事報告 黒部川第四発電所

関西電力株式会社編

一つの構造物が完成するとそれにたずさわった多くの技術者は新しい職場に散ってゆく。黒部第四ダムが完成してから3年、黒四ダムはその美しい姿を湖面にたたえ観光地として脚光をあびている。ここを訪れる何人が土木技術者の苦労を想うかべるだろうか。

われわれの仲間が総力をあげてつくりあげた世界に誇る黒四ダム……この黒四ダムの編集作業がいま土木学会ですすめられています。

この報告書では黒部川電源開発の歴史から筆をおこし、計画、設計、施工設備、施工、人員と工事費、基礎掘削、トンネル、特殊研究など、黒四ダム工事に関連するすべての事項を網羅してありますので、ただ黒四ダムの工事誌のみとしてではなく、これから行なわれるあらゆる土木工事の参考資料となるものと確信しご一読をおすすめします。

体 裁：B5判 1380 ページ（折込付図 36 枚），特上製豪華本
定 価：12500 円（学会負担）
会員特価：9800 円（〒300 円）

予約受付中
41年4月刊

新潟地震震害調査報告

土木学会新潟震災調査委員会編

昭和39年6月16日、突如新潟市を襲った地震は多くの災害をもたらした。今から43年前東京を襲った関東大震災とは別な意味で砂地盤の流動化という特異現象をもたらした災害として大きく浮び上ってきた。

文化がすすみ、人間の生活が高度化するにつれ、その被害には今まで例をみなかったものがある。土木学会では新潟地震の襲来とともにいち早く調査委員会（委員長 岡本舜三教授・東京大学生産技術研究所長）を組織し、被害の調査をはじめ、その原因、事後対策などを総論、地震・土質・地質・変動地盤、道路、鉄道、河川、道路橋、鉄道橋、港湾・空港・漁港、電力施設、衛生施設、農林土木、建築、通信施設、工場災害などの面からとらえ、詳細に診断した。今後の都市計画等の参考資料としてぜひご一読下さい。

体 裁：B5判 1200 ページ予定 図表、写真多数，特上製本
予 価：10000 円（会員特価）

予約受付中
41年5月刊

申込先 土木学会

TEL 351-5130（編集直通）
振替東京 16828 番